



広報

しんち

号外

国民健康保険

特集号



健康をもとめて

「楽しい家庭のどんらん、
平凡なことですが、これこそ人間生活の中で最高の幸せ、よろこびといえるのではないのでしょうか。しかし、私達はこの幸福が、家族一人一人の健康をもとにしてなりたっていることを、往々にして忘れがちです。」

ふだんは仕事のこと、家庭のことなどに追い回されて、健康であることがあたりまえのように考え活動しています。しかし、一度病気になってしまつと、かつての元気な毎日の生活がいまさらながらうらやましく、健康とは本当に大切なことだと感じるものです。
私達は社会生活をいきいきとす

ごすために、積極的な健康づくりが必要です。そのためには、自分の体を定期的に検診し、健康であることを確かめることが非常に大切だと思います。
健康づくりは私達自らの手で、そして健康で幸わせにあふれた人生を、みんなが楽しめる社会を創りだすこと、これが新地町の願い

◀ 乳幼児検診

です。
今号では、みなさんの健康を守るために町が行っている国民健康保険（国保）の一端を紹介します。

年々増加する医療費

51年度決算で二億円突破

国民健康保険事業は、被保険者の皆さんが納める保険税と、国庫の補助によって運営されています。五十一年度の決算をみるとみなさんが納めた保険税九千六十八万円の約二・八倍にあたる二億五千八百三十三万円の経費がかかり、その九割にあたる二億二千三百一十千円が、医療費、助産費、葬祭費などの保険給付費として使われています。

このように増えた理由としては、昭和五十一年四月から九割(歯科は八月から九・六割)の医療費改正があったこと、みなさんが医師などにかかる割合が多くなり、医学の進歩によって、高度な医療サービスが受けられるようになったことがあげられます。

医療費でできる

国保税

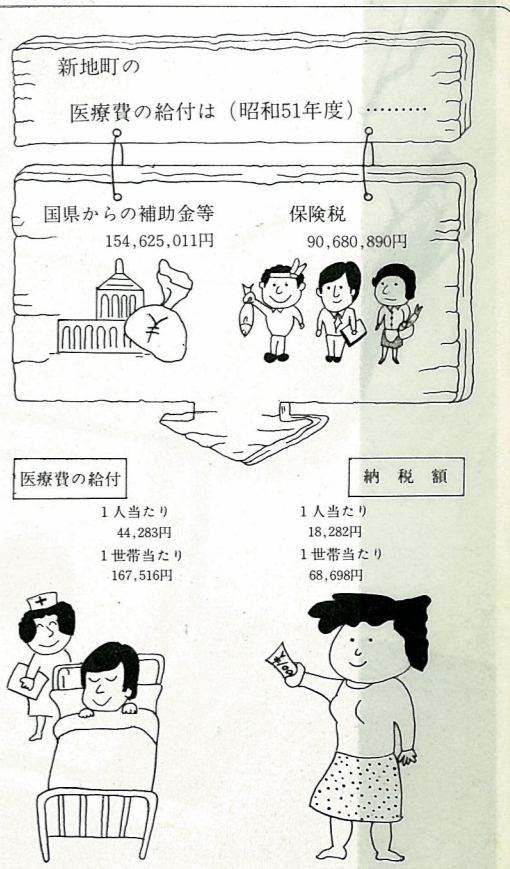
みなさんが医師などにかかったことで支払った一人当たりの医療費の総額と、国保負担分、医療費に占める保険税の割合を年度別に比較すると、第1図のようになります。これよりわかるように、昭和四十七年度から昭和五十一年度までの五年間で、医療費の総額は三倍に、保険税も二・三倍になっています。

このように、医療費が増えるとき、自己負担が増えるばかりでなく、保険税も高くなります。つまり、みなさんの医療費が、そのまま保険税の額にはねかえることになり、

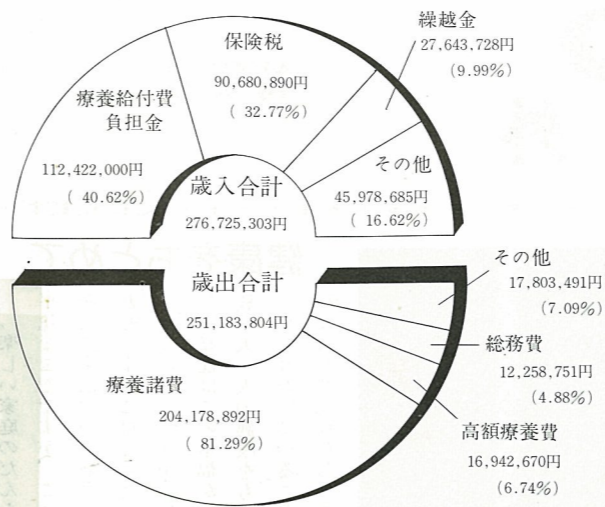
1人当たりの医療費と国保負担の推移 (第1図)

年度	医療費	国保負担	保険税
昭和47年度	2,748円	9,860円	5,470円
昭和48年度	4,317円	12,280円	7,020円
昭和49年度	5,248円	21,229円	9,771円
昭和50年度	7,388円	35,824円	12,713円
昭和51年度	8,402円	35,680円	14,450円

※保険税は医療費に占める保険税額



昭和51年度国民健康保険特別会計決算状況



医療費の七割は国保で負担

国保のしくみ

国保に加入すると、保険証が交付されますが、これは被保険者であるという証明書であり、医師にかかるとき、窓口で提出すると三分割の医療費を負担するだけで診察してもらえる受診券でもあります。また、国保は次のような給付を行っています。

◎医療費の七割を負担します
病気のケガで医師の診断を受けた時は、医療費の七割を国保で負担します。

◎高額療養費を支給します
ひとつの病院に一人が一月間かかって、医療費の自己負担額が三万九千円を超えた場合、その超

えた分は国保で全額負担します。受領証と保険証、認印を持って、役場窓口で申請してください。ただし、特別室料などの保険対象外のものは、差引かれます。

◎老人、乳児、重度心身障害者の医療費を負担します。
老人、乳児、重度心身障害者の医療費は、自己負担分の三分割を老人福祉法と町の公費負担事業によって、国や町が負担しますので無料になっています。

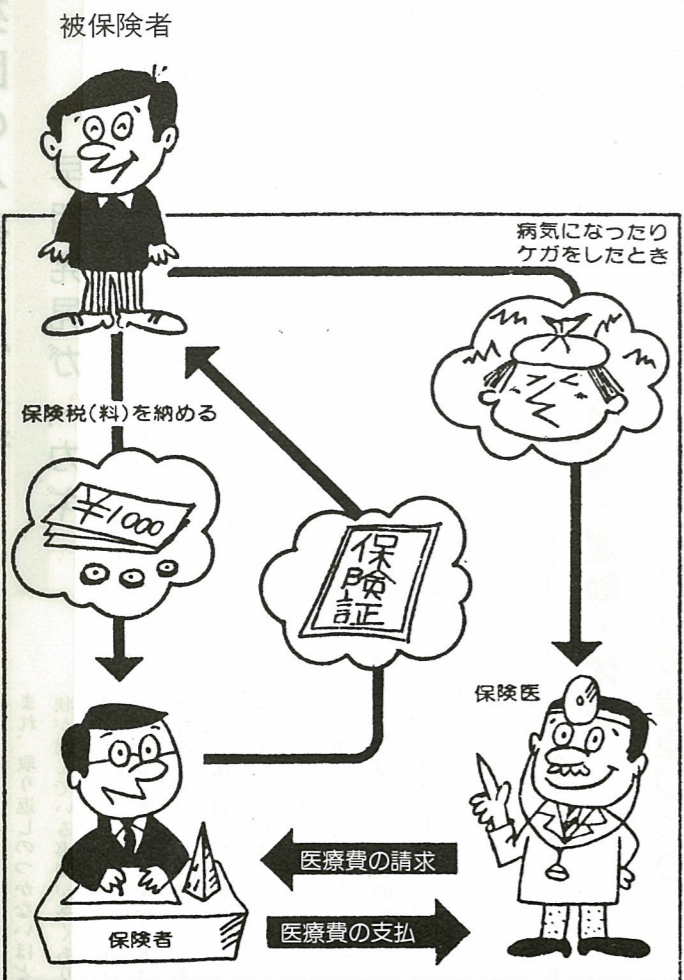
老人のかたは、満七十歳(ねたきりの老人は満六十五歳)になる月から無料になっています。医師に保険証と老人医療費受給者証を出して、診療を受けてください。赤ちゃんについては、満一歳になる月までが無料です。被保険者証を医師に出すだけで、無料の扱いがうけられます。

また、身体障害者手帳(一級、二級)または療育手帳(A)を持っている重度心身障害者のかたは、町に申請すれば自己負担分が現金で支給されます。

◎子どもが生まれたとき
国保に加入しているかたが出産したときは、六万円の祝い金(助産費)が支給されます。印鑑と被保険者証を持って、役場窓口で請求してください。

◎なくなつたとき
加入者が不幸にして亡くなったときは、弔慰金(葬祭費)として五千円が支給されます。印鑑と被保険者証を持って、役場窓口で請求してください。

※その他、町では低所得者に対する高額療養費の貸付なども行っています。詳しくは、役場住民課へお問い合わせください。



保険診療が受けられないとき

国保に加入していても、次のような場合は、保健診療が受けられません。

- ◎病気でないものの治療
- ①健康診断②予防接種や予防注射③美容の整形手術④仕事や日常生活に支障のない「あざ」「そばかす」「ほくろ」などの治療⑤正常妊娠や正常分娩⑥歯並びをなおすこと。
- ◎病気やケガでも保険の使えないもの
- ①外国にいるとき②少年院などに収容されているとき③自分でわざとした行為による傷病④泥酔による傷害⑤療養の指示や命令に従わなかった場合
- ①③は全部の保険給付を、④⑤はその全部または一部の保険給付を行わないことになっています。
- ◎その他
歯科の治療で、特殊な義歯や貴金属を使ったときは保険診療の対象にならないことがあります。

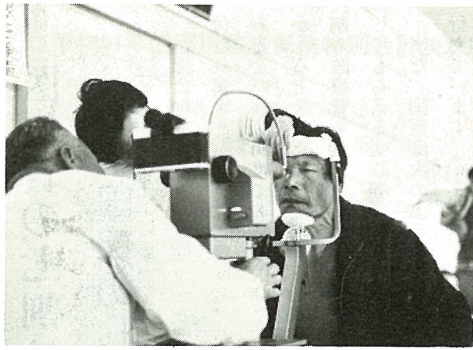
死因の八割は成人病

早期発見が「カギ」

脳卒中、がん、心臓病など、いわゆる成人病による死亡者が増えています。

このころみに、昭和五十一年の町内での死亡者百六人のうち、上位三位までの死亡原因を見てみますと、

- (1)脳卒中 三十七人(三四・九割)
 - (2)が ん 二十四人(二二・六割)
 - (3)心臓病 二十一人(一九・八割)
- となつています。この三大死因はいずれも成人病で、その合計は七



病気が早く発見して、早くなおすのが理想的(成人病検診)

七・三割にものぼつています。

成人病はどれも、初期の症状は問題にならないほど軽く、苦痛をともないません。自覚症状としては、高血圧になると物忘れをする場合があったり、肺がんであればでもないのにセキがでたりするていどです。

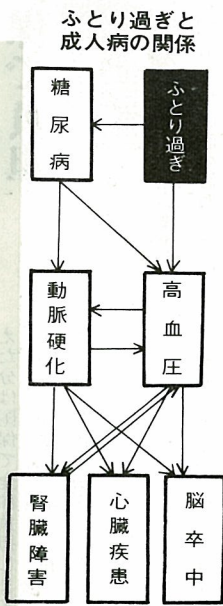
そのため病院にも行かず放っておく人が多いのですが、気がつ

栄養・運動・休養

これからの健康づくり

ふとり過ぎは、いろいろな病気を招きます。とくに高血圧、動脈硬化、これらが原因となる脳卒中、心臓や腎臓の疾患、さらに糖尿病などの成人病と肥満との間には密

接な関連があります。食生活のうえで「食べすぎ」というのは、単に量を多くしたべるといふことではなく、消費するエネルギー以上に飲み、かつ食べるこ



たときはすでに「魔の手」につつまれ、取り返しのつかないほど症状が進んでいる事例が多くあります。

しかも、成人病にかかる人は、男は四十歳以上、女は三十五歳以上の、社会的にも家庭的にも柱となるような人が多く、二重の悲劇になっていきます。

表面どんなに丈夫そうに見えても、健康診断を定期的に行うことが「丈夫で長持ち」のひけつです。

とを意味します。要は摂取量(食事)と消費量(運動、労働)のバランスの問題です。余分なエネルギーは、体内で脂肪に変えられ、皮下に蓄積されてふとつていきます。

食生活のポイント

「減食」を原則としますが、むやみに食事の量を減らせばよいというものではありません。健康を保ち、体力を低下させずに減らすには、順序というものがあ

第一に、体内で脂肪に変えられて蓄積されやすい糖質、つまり米、パン、めん類、甘いもの、酒類などを減らすこと。

第二は、高エネルギーの脂肪を減らし、からだの組織づくりの役目をはたすタンパク質やミネラル類は減らさず、多目にします。

身近かな相談役

保健婦、保健指導員

国保では、被保険者が病気やケガをしたときの医療費の支払いだけでなく、病気になつても早いうちに発見して軽くすむように保健活動を行っています。

現在その中心となつてのが二名の保健婦です。保健婦は専門的な知識を持ち、成人病対策、乳児妊産婦指導、衛生教育、栄養改善指導、家庭訪問、健康相談などを行っています。

また、町では保健活動の充実をはかるため、各部落に保健指導員を委嘱しています。指導員は地域の健康管理活動の担い手ですので健康管理について遠慮なくご相談ください。

保健指導員名簿

部落	氏名	部落	氏名
菅谷	錫田 幸子	中島	大堀 伊都子
高田	佐久間 キヌ子	小川	目黒 キよ子
駒町	渡部 チエ	釣師	寺島 ナカヨ
上ノ町	阿部 ヒサ	大戸	伊藤 寛子
城内	川部 ミチ	今泉	水品 ますヨ
洪民	後藤 サツキ	菅野	荒 寺島 キヨ
藤崎	森 さかえ	早坂	菅野 トシ子
今	吉田 ツネ	齊藤	早坂 コハル
富倉	鈴木 マル	沢口	齊藤 キヨ子
原	目黒 栄子	鉄炮町	鈴木 ひで子
岡	大友 ヨシ子	明地	佐藤 イト子
杉目	岡田 カヨ	中里	荒 キヨミ
新地町	宇佐美 ツヤ子	大山田	佐藤 トヨ子
	菊地 幸子	木崎	荒 容子
	加藤 カネ	作田	長倉 マサ
	齊藤 タマエ	埴浜	三宅 ツエ子
	杉目 喜代子	上真弓	林 テ
	目黒 ハナイ	下真弓	加藤 淳
	水戸 貞子		